

心理学部の3つのポリシー

○ディプロマ・ポリシー

心理学部心理学科では、建学の精神である「人間性の涵養と実学の重視」を教育の基本理念とし、卒業に必要な単位数 124 単位を修得し、以下に掲げる能力を身に付けた学生に、学位を授与します。

(1) カウンセリングマインドと実践的理解の深化

様々な生活課題を抱えている人々および世界の人々に肯定的な関心を持ち、社会活動等を通じ、学問を深めることができる。

(2) 豊かな教養を拠り所としたアサーティブな自己表現

幅広い教養力で柔軟にものごとを考え、自分の考えも主張できる。

(3) 変化を受け入れ主体的に取り組む態度

地域社会や心理の現場において、新たな変化に怯まず、意欲的に対応することができる。

(4) 心理学的知見に基づいた多面的な問題解決力

心理学やその他の幅広い分野で得た知識を基に、コミュニケーション能力やスキルを発揮して、地域社会や心理の現場で問題解決に努める。

(5) 心理学を活用した地域社会における多様な協働力

心理学を活用して人々の笑顔につながるサービスを提供する心理の専門家や職業人として地域社会で活躍する。

○カリキュラム・ポリシー

心理学部心理学科のカリキュラムは、心理学とその他の幅広い分野について学ぶことにより、複雑化した社会で課題解決ができる能力を身に付けることができるよう編成しています。同時に、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身に付けるため、教育課程において以下のことを実施します。

(1) 教育課程の編成

- ・教育課程は「基礎・教養科目」および「専門科目」からカリキュラムを構築しています。「基礎・教養科目」は入門、情報処理および語学からなる「基礎科目」、社会の理解、自然の理解、人間の理解からなる「教養科目」及び「コミュニケーション科目」と「キャリア科目」からなっており、それぞれから卒業に必要な単位を修得します。ここでは高校から大学への接続を円滑にしながら諸科学への興味関心と理解を深めると同時に、心理学の基礎的思考方法を習得してコミュニケーション能力を育成することで、柔軟な思考と表現力を高めていけるよう支援します。また、地域に貢献する積極的な態度を育成するため、キャリア形成に関する科目や地域における実習を含む科目を1年次から4年次までの継続性のある教科目として配置しています。
- ・初年次教育を重視し、「基礎・教養科目」・「基礎科目」・入門に、1年生の必修科目として「心理学基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」を開講し、年間を通じて学習方法や、グループワークで自分の考えを主張する能力の修得を目指します。

- ・心理学の専門科目を「基礎心理学科目」、「応用心理学科目」、「心理学展開科目」及び「ゼミナール・卒業研究」に分け、学修する内容の順序性、関係性を踏まえて基礎から応用まで様々な側面から心理学を学べるよう教科目を配置しています。各教科目では、主体的に学び、考え、様々な状況に対応できる力を身につけられるよう主体的な学びを推進します。「ゼミナール」において、多様な学生の進路希望に対応する履修モデルを提示して学部教育を進めます。
- ・「心理学展開科目」の「公認心理師関係」科目の履修と「公認心理師関係」のゼミナールを通して、心理カウンセラーとなって臨床心理学の知見を地域の人々の健康の増進や安心のために活かすことができるスペシャリストを養成します。
- ・「心理学展開科目」の「ビジネス心理関係」科目の履修と「ビジネス心理関係」のゼミナールを通して、ビジネス場面の一般業務の中で心理学やコミュニケーション力を活かしていくことができるゼネラリストを養成します。
- ・「基礎心理学科目」、「応用心理学科目」、「心理学展開科目」の科目を幅広く履修し、心理学研究総合演習と専門のゼミナールで関心あるテーマに取り組むことで、問題発見や解決のスキルを高めるとともに、それらを活用できる力を育成します。
- ・「ゼミナール・卒業研究」は、未知の領域に挑む意欲と探求心を育成します。

(2) 学修方法・学修過程

- ・学習時間を確保するため、年間の履修登録単位数の上限を 48 単位と定めています。また成績が優秀な学生には、追加での履修登録を認めています。
- ・全学的に、アクティブラーニングによる授業に取り組んでいます。これにより、学生に能動的な学習の仕方を身に付けさせます。

(3) 成績・学修成果の評価

- ・各科目の評価は、「定期試験（中間・期末）」「小テスト・授業内レポート」「宿題・授業外レポート」「授業態度」「プレゼンテーション」「グループワーク」「演習」「実習」の 8 つの評価項目のうち複数组み合わせて、100 点満点で総合評価します。
- ・GPA (Grade Point Average) に基づいてゼミナール担当教員が学生に対して学修に関する相談を実施しています。特に公認心理師資格試験にかかわる必修科目「心理実習」履修時には GPA を参考資料として重視します。
- ・4 年生の「卒業研究」において、心理学についての総合的な知識・技術の確認・評価を行います。

○アドミッション・ポリシー

心理学部心理学科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す内容を達成するために、以下に示す学生像を求め、入試選抜・入学前教育を実施します。

(1) 求める学生像

- ・心理学を通して人間に対する強い関心を持ち、実践活動を通じて学術を極めることができる人
- ・コミュニケーション能力、スキルを使い自分の考えを持つと同時に他者の意見も柔軟に取り入れることができる人
- ・常に新しいことに挑戦するフロンティア精神をもって社会で活躍しようとしている人

- ・ グローバルな思考で地域に主体的に参加するために必要な素養を心理学を通して身につけたい人
- ・ 心理学を通して人々に笑顔を届けたいと考えている人

(2) 入試選抜について

心理学部心理学科では、求める学生像受け入れのため、教科の試験や高等学校からの推薦、総合型選抜および大学入学共通テストを利用した試験等、多様な入試選抜を実施します。

(3) 入学前教育について

大学教育を受けるのに必要な基礎的能力の向上のため、心理学部心理学科は入学予定者に課題を与え、その提出を求める。もしくは、入学までに学習しておくべき項目を提示します。